

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	安心・安全なまち実現プロジェクト ～快適なまち やわた～		実施期間	平成28年度～ 平成30年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>新名神高速道路の城陽・八幡間の完成や、平成35年度に予定されている高槻・八幡京田辺間の開通により、八幡市は交通の要衝としてのポテンシャルが高まっている。このことを踏まえ、新たな土地利用、産業育成を可能にし、点在する優れた観光資源を結びつけるような基盤づくりが必要である。</p> <p>また、様々なプレイヤーが活躍できるための安心・安全の基盤づくり、一步前の安心を実感できるソフト対策を同時に展開することが重要である。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災の拠点となる庁舎の改修等を実施する。</li> <li>・高齢者を狙ったひったくりが多発し、京都府警や市民の強い要望により防犯カメラの設置に対して助成する。</li> <li>・今後のまちづくりや農家のあり方について農家の女性を交えた意見交換会を実施する。</li> <li>・持続可能なまちづくりを行うために、環境に配慮した事業に対して助成する</li> </ul>							
	総事業費（千円）	52,605	本年度事業費（千円）	44,605	交付金額（千円）	19,704		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	維持補修費（街路灯LED化事業）	関連事業	防犯及び省エネの推進のため、街路灯のLED化を行う。		市内全域 24灯			
	庁舎整備事業費	交付対象事業	防災の拠点である市庁舎の整備を行う。		新庁舎模擬地振動作成等			
	庁舎管理費	交付対象事業	防災の拠点である市分庁舎のエレベータ改修を行う。		第二分庁舎エレベーター等改修工事			
	都市計画に関する事業費（都市計画マスタープラン改定業務）	交付対象事業	土地利用の動向や都市構造の現況や課題を整理するとともに、将来の都市像を明確にするため都市計画マスタープラン改定を行う。		都市計画マスタープラン改定			
	防災対策費（避難所特設電話設置）	交付対象事業	災害が発生した時の対策として、避難所特設電話を新たに設置する。		電話設置 19台			
住民 協働 事業	地産地消推進事業費	交付対象事業	農業の推進、担い手確保のため、地元産米や地元産味噌の給食利用促進事業に対する助成を行う。		米(59,430kg)、赤味噌(1,530kg)、白味噌(679kg)			
	防災対策費（災害用資機材整備）	交付対象事業	新たに発足した自主防災隊に対する助成等を行う。		男山美桜自治会自主防災隊資機材整備			
	ごみ減量・リサイクル推進費	交付対象事業	持続可能なまちづくりを推進するため、ごみの減量推進等を実施する。		再生資源化奨励金交付 66団体（1876t分）			
住民が 取り組む 事業								
成 果	成果指標の目標数値	やわた流れ橋交流プラザ利用者数 100,000人		成果指標の実績値 (31年4月1日時点)	92,262人			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：八幡市

果 指 標 ①	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標数値の100,000人には届かなかったが、さくらまつりや空中茶室の開催等、観光客のリピーター確保に繋がるようなイベントに触れてもらうことで、観光消費額の増大に繋げる。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成 果 指 標 ②	成果指標の目標数値	避難所特設電話設置 15台		成果指標の実績値 (31年4月1日時点)	19台	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値を上回って、避難所特設電話を設置することができた。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	市民や消防団、自治会等との協働による、自助・共助・公助の持続可能な安心・安全のまちづくりを図り、市民の防災の意識を高め、また防災の拠点となる庁舎の整備事業を進めることで災害に強い安心・安全なまちづくりに寄与した。					
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。					
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果	防犯力を高める取り組みとして、夜道を明るくするための街路灯LED化を行い、新たに組織された自主防災組織の資機材配備を行う事で、地域ぐるみでの自助・共助による取り組みを進め、地域防災力・防犯力を強化を図れた。				
	府と市町村等との連携に資する成果					
	住民の自治意識を高める成果	農地の減少や農業者の高齢化、担い手不足等の問題が生じている。農業の魅力・八幡産の農産物のおいしさの周知を図るため、八幡産の米や味噌を使った給食に対して助成を行い、地産地消の推進及び食育の推進を図れた。				
	リーディング・モデル成果					
	広域的波及成果	都市計画マスタープランを改定し、土地利用の動向や都市構造の現況や課題を整理したうえで、企業立地を推進することで、雇用の創出と税源の涵養を図る。				
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果					

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：八幡市

---

---

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。